

野鳥写真展 作品募集

新潟の豊かな自然環境に生きる
野鳥たちの魅力的で自然な姿を
捉えた力作をお待ちしています。



締切り
令和5年1月4日(水)
当日消印有効



令和3年度銀賞「あゆとり名人」(アオサギ)阿達清氏



令和3年度金賞「水に沈める～オオタカの狩り～」藤田正明氏



令和3年度銀賞「キレンジャク」山崎悦子氏

《応募資格》新潟県在住者

《応募点数》2L版で1人5枚まで

※応募作品は新潟県内で撮影したものに限りません。

《審査員》日本野鳥の会新潟県副会長 岡田成弘氏

《締切》令和5年1月4日(水)(当日消印有効)

※応募条件等の詳細は裏面の募集要領をご覧ください

問合せ・応募先

新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里
〒957-0231 新潟県新発田市藤塚浜海老池

Tel: 0254-41-4500 Fax: 0254-41-4501

HP: <https://www.pref.niigata.lg.jp/site/aicho/>



令和4年度 野鳥写真展募集要領

- 1 目的：野鳥写真展を開催し、県民に野鳥に対する関心を高め、自然保護思想の普及啓発を図る。
また、野鳥観察や撮影のマナー啓発の機会とし、野鳥との接し方について県民の理解を深める。
- 2 主催：新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里 後援：新潟県野鳥愛護会、日本野鳥の会新潟県
- 3 応募条件
 - (1) 応募資格：新潟県在住者に限ります。
 - (2) 県内で撮影したものに限ります。
 - (3) 日本に生息する野鳥を対象とし、愛鳥思想の高揚普及に沿ったものとします。
(例) ア 野鳥の自然の姿をテーマとしたもの
イ 自然の中での野鳥と人との交流をテーマにしたもの
ウ その他、野鳥保護思想の高揚普及に役立つもの
エ 飼育している鳥（インコ、オウム、文鳥、アヒル、コクチョウ等）は対象としないこと
 - (4) 野鳥保護の観点から、希少種・絶滅危惧種等の写真については、撮影地や生息地が特定される恐れのあるものについては審査対象外とする場合がありますので、ご了承ください。
 - (5) 野鳥へ悪影響を与えていると判断される写真については、審査対象外とする場合があります。
(撮影目的の餌付け、営巣環境への過剰な近寄り、巣内の撮影、等)
 - (6) 応募写真
ア フィルム写真、デジタル写真ともに応募できます。ただし、未発表のものに限ります。
イ 写真はプリントしたものを応募ください。（データのみ応募は受け付けません）
ウ **写真の大きさは、2L版とします。**
エ デジタル写真のトリミングは自由ですが、その他加工写真は審査対象外となります。
オ 入賞作品（金賞・銀賞・銅賞・特別賞）は四つ切り写真で展示しますので、ネガやポジフィルム、あるいは画像を記録したディスク等が借用可能なものに限ります。
 - (7) 写真裏面に、①**題名（鳥の種名）** ②**撮影場所** ③**撮影年月日** ④**撮影者の住所、氏名、電話番号**を明記すること。
(注1) 記名は写真中央部にお願いします
(注2) インクやノリが他の写真に付かないように十分乾燥させてください
(注3) 題名については、野鳥の種名・性別・生態等について誤解が生じる可能性がある場合は変更させていただくことがあります
 - (8) 応募数の制限：厳正な審査を行うため、応募数をお一人5点までとします。
- 4 応募作品について
応募作品は返却いたしません。
愛鳥センター、地域振興局健康福祉（環境）部等が主催する野鳥保護思想の普及啓発活動に活用させていただきます。なお、これらの場合は特に連絡はしませんので、予めご了承ください。
- 5 応募・問い合わせ先 〒957-0231 新発田市藤塚浜海老池
新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里
Tel 0254-41-4500・Fax 0254-41-4501
E-mail ngt031210@pref.niigata.lg.jp
- 6 締切 令和5年1月4日（水）（当日消印有効）
- 7 審査および審査結果の発表・表彰
 - (1) 審査：日本野鳥の会新潟県副会長 岡田 成弘 氏が審査します。
 - (2) 表彰：金賞1点、銀賞2点、銅賞3点、特別賞1点及び佳作若干数を選定し、賞状及び副賞を贈呈します。
 - (3) 結果発表：令和5年1月下旬頃、ホームページ上に結果を公開し、応募者に通知します。
 - (4) 表彰式：未定です。決定次第、ホームページ等でお知らせします。なお、受賞者には個別に連絡します。
- 8 野鳥写真展 応募作品は、「野鳥写真展」として愛鳥センターで展示します。
期 間：令和5年2月18日（土）～5月5日（金・祝）（予定）